

この本の使い方（実践者のみなさんへ）

本書の目的と対象者

本書では、日本語の学習だけを目指すのではなく、内容への深い理解、他者と協働する力、そして批判的思考スキルの向上も目指しています。主に日本語上級以上の学習者を対象としていますが、大学の初年次教育、高校生の国際理解教育、継承語教育などにも応用できると思います。日本語学習者に限らず、このテーマについて共に学ぶための教材として活用していただければ幸いです。

学習の進め方

本書は、11 ユニット（ユニット 1 ～ 10 + オプションユニット）から構成されています。

各ユニットの冒頭には、そのユニットで目指す学習目標が、CLIL の 4 つの C の観点から示されています。学習者与实践者はこれらの観点を共有しながら、日本語を使って「何ができるようになるか」（Can-do）を意識して学習を進めていきます。さまざまな読み物を読んで内容理解を深めることに加えて、発表やディスカッションを通してクラスの仲間と考えを共有し、対話を重ねながら思考を深めます。また、学んだ内容や自分の意見をポートフォリオにまとめて振り返る活動も行います。このように、本書では「聞く・読む・話す（やり取り・発表）・書く」を統合した言語活動を通して、情報を整理して伝える力や根拠をもとに意見を述べる力などの学習スキルを身につけていきます。

読み物の特徴

本書の読み物には、国際機関で難民問題に取り組んでいた方による寄稿、移民・難民当事者および支援者へのインタビュー記事、マンガ、各ユニットの内容に関連したコラムなどが収められています。移動の経験がある人々（移民・難民）をめぐる問題には多様な立場や意見があるため、ときには学習者同士で考えが異なることもあるでしょう。それは学びを深める大切な機会です。心理的に安心できる環境のなかで、相手を尊重しながら、自分の意見との違いについて考え、多様な視点から社会課題を捉え直す時間にしてください。

学習のサポート

読み物には、学習者にとって見られない語や難しい語も多いので、語彙リストを作りました。語彙リストは、凡人社の教材サポートページからダウンロードできます。また、話したり書いたりするときに活用できる表現をユニット末に掲載しています。

本書の各ページの右の欄には、その活動に必要なキーワードやポイントが書かれていて、この本のキャラクターであるクリルンが学びをサポートしてくれます。空いているスペースには学習者自身が新しく学んだことばを書き込むなど、自由に使ってください。



ポートフォリオの活用

本書には、毎回の活動に必要なワークシートがまとめられた「別冊ポートフォリオ」が付属しています。ポートフォリオは学習者自身の学びの記録になるもので、コースが終了したときに、ポートフォリオを見返して、この本で何を学んだか振り返ります。成績をつける際の評価の対象にすることもできます。日本語はもちろん、内容の理解が深まり、批判的に考えられるようになる、当事者として捉えられるようになるなど、それ以外にも多くの点で成長を感じることができると思います。ポートフォリオの一部は凡人社の教材サポートページからダウンロード可能です。



◀ 「DL ポートフォリオ」は
こちらから
(凡人社ウェブサイト内
教材サポートページ)

紙版と電子版について

本書は紙版と電子版があるため、授業形態や学習環境に応じて使いやすいほうを選んでいただければと思います。

さらに詳しい情報について

CLIL についてもっと詳しく知りたい方は、『日本語教師のための CLIL（内容言語統合型学習）入門』（凡人社）をご覧ください。また、各ユニットに関する活動のアイデアや留意点については『日本語で PEACE CLIL 実践ガイド』をご参照ください。実践ガイドには、本書のテーマに関する理解を深めるための情報なども含めました。しかし、私たちは、移民研究や難民政策の専門家ではないため、まだまだわからないこと、知らないこともたくさんあります。また、社会状況も変化していくでしょう。ぜひ、学習者のみなさんと学びを深めながら、本書の内容をアップデートしていく気持ちで進めていただければと思います。

この本の使い方（この本で学ぶみなさんへ）

- 主に、上級レベル以上の日本語学習者、アカデミックスキルを高めたい大学生などが対象です。
- 紙版と電子版があります。みなさんが使いやすいほうを選んでください。
- この本は全部で11のユニット（ユニット1～10＋オプションユニット）があります。
- ユニットによって活動は異なります。

【ユニット1の活動】

1	描いてみよう
2	考えてみよう
3	ふり返ってみよう

【ユニット2の活動】

1	考えてみよう
2	クラスメートにインタビューしてみよう
3	クラスメートの物語を書いてみよう
4	もっと調べてみよう

- ふりがなは、日本語能力試験（JLPT）N1 程度以上の語（ユニットで初めて出たもの／読み物はそのページで初めて出たもの）についています。
- 語彙リストは、この教科書のサポートページからダウンロードできます。

【サポートページ】（2026 年現在）

https://publishing.bonjinsha.co.jp/support/cliil_a



- 別冊のポートフォリオも必ず使いましょう。学習効果が高まり、自分の成長に気づくことができます。
- 移動の経験がある人々（移民・難民）の問題には、簡単な正解がないことも多いです。だからこそ、「なぜだろう」「どうしてだろう」と問いを持つことが大切です。
- 他の人の多様な意見を尊重しましょう。お互いに自由に考えを述べましょう。
- もっと知りたいと思ったことは、自分で調べてみましょう。調べるときには、日本語だけでなく、自分が使える他の言語も活用してかまいません。
- さまざまな言語や文化、自分と異なる考えを持つ人と学ぶことは、視野を広げる大切な経験です。ぜひ対話を楽しみながら学んでください。

楽しく学ぼう

